

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年11月11日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岸和田市教育委員会	代表者名	課長 松本 秀規
担当者部署	学校教育部	連絡先電話番号	072-423-9683
担当者役職	指導主事	担当者氏名	佐伯 紗幸
		連絡先E-mail	
住所	596-8510 大阪府岸和田市岸城町7番1号		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤村 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	大阪府スクールエンパワメント推進事業「確かな学びをはぐくむ学校づくり推進校」としての公開授業発表会にて、学校の取組についての指導助言と、問題発見解決型学習実現のための授業観転換の必要性、指導案の書き方等を講演いただいた。今、求められる学力がどんなものなのか、そのためには子どもたちの思考を意識した授業づくり、個別最適化とはどういうことなのか、分かりやすく参加者にご教示いただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年11月11日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時50分	17時20分	10
				活動時間（分）	200
3-2. 派遣場所	会場名	岸和田市立桜台中学校	最寄駅	JR阪和線 下松駅	
	所在地	大阪府岸和田市下松町1255	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可 掲載可

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	岸和田市内教職員	65 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本年度は「主体的・対話的で深い学び」を実現するための協働的な学び・個別最適な学びにどうICTを効果的に活用するかが課題であった。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	当該中学校が組織的に同じ教育観・授業観を共有し、「主体的・対話的で深い学び」のために一丸となって授業づくりに取り組むこと。また、岸和田市全体でも個別最適な学びや、ICTの効果的な活用事例について共有し、市全体の授業改善を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	問題発見・解決型で、子どもたちの思考に沿った授業にするためには、指導案を複線化することによって実現に近づくこと。また、それにチャレンジした当該中学校の取組について触れ、価値づけてくださった。また、子どもたちには「学び方」をまずしっかりと教え、必要な学び方を自ら選べる子どもたちに育てることの重要性を、他県の取組をもとにご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容	昨年度に引き続き、ご支援・ご指導いただいたことによって、当該中学校での組織的な取組みが進んできた。指導案を全員がご指導いただいたことにより、授業に対する意識の向上が見られる。ま	

(具体的にご記入下さい)	<p>こと。指導案を主眼として指導していたことにより、授業に対する意識の向上が見られる。また、出席者の中には昨年度拝聴できなかった教員も多数おり、自校に持ち帰って周知し実践に生かしたいと意欲的な教員が多く見られた。</p>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<p>当該中学校での協働的な学びやICTの活用方法については、まだ不十分のところも多い。子どもたち全員が課題意識を持ち、切磋琢磨しながら問題を解決しようとするような授業づくりについては、今回ご指導いただいた内容を継続して研究・実践していくことが必要である。</p>	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>(公開授業参加者へアンケートを実施したが、回答数がわずかだったため、分析がしづらかった。そのため、校内の記述アンケートより記入いたします) 授業づくりについては、生徒の思考の流れを意識した指導案作り、生徒が集中する・意欲的になる課</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	<p>情報スキルを基礎力とする21世紀型能力と社会に生きて働く資質・能力の中核である問題発見・解決能力を育む授業への転換。効果的なICT活用方法を教員と生徒が理解し、授業や活動に活用していくようになること。</p>	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



